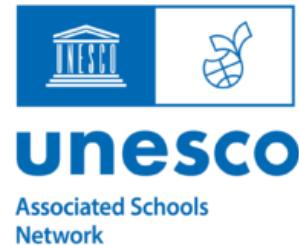


TOMIYA UNESCO NEWS LETTER

令和7年度 第3号 ユネスコ企画部発行 2025年12月



31回生「課題研究」始動しました

本校2学年の地域課題研究がスタートしました。本校では、富谷市と連携し、校内に「仮想市役所」を設置。企画部・総務部・市民生活部・保健福祉部・経済産業部・建設部・教育部の7部署に分かれ、地域課題の解決に挑みます。

9月初旬、各自の関心テーマをもとに班編成を行い、全53班が誕生しました。その後、課題の現状調査や研究企画書の作成に取り組み、9月末には富谷市役所職員による「特別授業」を実施。市の施策や現状について学び、質疑応答では活発な意見交換が行われました。10月には研究企画書発表会を開催し、大学講師から専門的な助言を受けるとともに、模擬授業で理解を深めました。生徒たちは実践的な知識と多角的な視点を養い、地域課題解決への意識を高めています。今後は12月に中間発表、1月に1・2年合同課題研究、3月に予選、4月に本選「収穫祭」を予定。地域と連携した学びの成果にご期待ください。

☆先輩方からのバトンを受け、富谷市の課題解決にどのように迫るのか、楽しみです！

今後の予定 12月：中間発表→1月：1・2年合同課題研究→3月：予選（代表班決定）

⇒3年次4月：本選「収穫祭」（代表班による発表会）

1学年「SDGs課題学習」も始まりました

本校では、1学年で4回にわたり SDGs 課題学習を実施します。この活動は、2学年次の地域課題解決に向けた「課題研究」へつながる基礎固め。「世界を知る」ことから始める学びが、広い視野と柔軟な発想を育みます。第1回のテーマは「世界の人々と様々な文化・生活を知ろう」。SDGs は地球規模の課題を扱いますが、その実行には多様な文化や価値観の理解が不可欠です。授業では、民族文化や楽器・踊りの映像をきっかけに興味を持った国を選び、衣食住や歴史、宗教、自然環境などを調べました。調べた内容はレポートだけでなく、画像や動画を交えた工夫を加え、班ごとに発表。生徒は異文化を「面白い」「不思議」と感じながら、その背景にある意味を理解し、世界をより立体的に捉えることができました。

☆「世界を知ることから始めて、2学年次の「地域課題解決」へつなげます



☆今後の SDGs 学習予定

- ②「目標14 海の豊かさを守ろう」
- ③「目標16 平和と構成をすべての人に」
- ④「目標3 すべての人に健康と福祉を」

1学年「ESD講演会(理数分野)」

9月25日(木)、1学年を対象に ESD 講演会(理数分野)を開催しました。今年度のテーマは、国際的に注目される「ネイチャーポジティブ(Nature Positive)」。これは、生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せることを目指す新しい考え方であり、単なる自然保護から「自然再生」へと舵を切る世界的潮流です。

本校はユネスコスクール加盟校として、ESD(持続可能な開発のための教育)の理念を重視し、国際・人文・理数の3分野で講演会を実施してきました。今回がその最終回となり、生徒たちは「世界的な視点」と「地域や身近な視点」を結びつけて考える貴重な機会を得ました。

この学びを通じて、生徒は持続可能な社会の一員としての役割を考え、将来に向けて主体的に行動する力を育んでいます。今回の経験が、今後の課題研究や日常生活での行動へつながることを期待しています。

☆ESD(持続可能な開発のための教育)の理念を重視することで

持続可能な社会の一員としての役割を考え行動へつなげます

『届けよう、服のチカラプロジェクト』今年度分終了

ユネスコスクール活動の一環として、ユニクロ主催「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しています。UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と連携し、着なくなった子ども服を回収して難民支援につなげる取り組みで、SDGs12「つかう責任・つくる責任」に貢献するものです。

9月の樹咲祭ではユネスコ委員が来場者から寄付を募り、10月には、成田中・成田小・成田東小にも協力いただきました。回収した服は1年生ユネスコ委員が仕分けし、発送を完了。寄付いただいた服は世界の子どもたちへ届けられます。ユネスコ委員をはじめ、ご協力ありがとうございました。

全国発酵甲子園高校生ピッチコンテスト ミツカン賞受賞 ⇒⇒⇒⇒⇒ 愛知県へ！

10月11日(土)に富谷中央公民館にて全国発酵甲子園高校生ピッチコンテストが行われました。本校から5名の生徒達が、富谷市役所の方々や宮城大学の先生の指導を受けて出場しました。その結果は、ミツカン賞受賞！ミツカンミュージアムへ12月11日(木)～12日(金)の1泊2日の視察の権利をいただきました！ミツカンミュージアムは、愛知県半田市にある、食文化を見て、さわって、楽しめる体験型博物館です。この博物館では富谷市の「持続可能なまちづくり」のヒントを学んできました。詳しい報告は、次回の NEWS LETTER で。お楽しみに。

